

"8 かけ社会"……2040年頃に日本の高齢者人口の割合の最大化と生産年齢人口の急減が同時進行で起こり、国内経済や社会維持が危機的状況に陥るとされる問題です。その中で私たちの食料をはじめ、生命を支える一次産業はどうなっていくのか、どうしていくことができるのか。農業・林業・水産業・畜産業にかかわる 岩手県のトップランナーの講演、異なる分野間での議論を行います。

※終了後、岩手大学内に講師を交えた懇親会を行います。講演会の参加費は無料、懇親会の参加費は4000円となります。いずれの申し込みも下部申込フォームよりお願いいたします。



## 講師プロフィール



**照井勝也氏 西部開発農産 代表取締役社長**

岩手県和賀郡和賀町(現北上市)生まれ。2012年に先代から社長を引継ぎ2017年に直営店を立ち上げる。2022年、受託部を新設し、新事業の展開を模索。「食」を通じて「安心」や「楽しさ」を供給することを目指し、本州最大規模の900haの農地に米穀、野菜を生産するほか、畜産や加工食品の販売、直営店の営業など多岐にわたる事業を展開する。



**三田林太郎氏 三田農林、岩手林業 代表取締役社長**

岩手県盛岡市生まれ。大手家電メーカー勤務後1994年に帰省。約30年でジュース、アイスクリーム製造、ブルーベリー生産、木質バイオマス普及・利用、一段の森林経営の長伐期化と広葉樹林の育成、カーボンオフセット、ショッピングセンター「クロスステラス盛岡」開業、地域イベント、リノベーションした古民家の賃貸、アパレル、北海道でのカフェを新たな業容に。社外では林業、アート、スポーツ、映画、公共交通、まちづくり、森林の研究機関などの会議に参加する。



**柴田智樹氏 柴田産業 専務取締役**

岩手県二戸郡一戸町生まれ。モトクロスプロライダーを1995年にスタート、2003年に引退。2004年から柴田産業山林部に入社。ハーベスターを有効に使用し2009年国有林間伐コンクール優秀賞受賞。2011年から"オーストリアの林業を日本で実践"をテーマに毎年渡欧。現在は欧州製の林業専用機ハイランダーを使用し伐採作業と人材育成に取り組む。



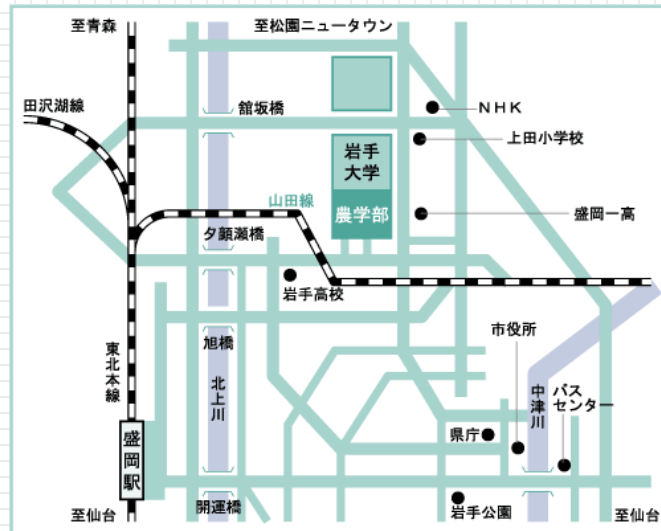
**柿木敏由貴氏 柿木畜産 代表**

岩手県旧山形村小国(現久慈市)生まれ。幼いころから短角和牛に囲まれて育ち、現在は肥育、繁殖、卸、肉販売、闘牛まで短角和牛のみで経営する。1993年に県立農業大学校卒業後、就農。2011年アグリフロンティアスクール卒業、精肉のネット販売を開始。2013年、消費者と顔の見える関わりを持ち信頼関係を築くことができる取組として柿木畜産CSAを開始。直近の2023年には短角和牛精肉輸出を開始した。



**佐々木淳氏 岩手県漁業士会 会長**

岩手県大船渡市三陸町生まれ。地元企業に3年勤めたのち21歳で漁師の道へ。2009年に県知事認定青年漁業士、2017年に指導漁業士となる。2016年「漁師の甲子園」とも呼ばれる全国青年・女性漁業者交流大会で農林水産大臣賞受賞。新嘗祭で内閣総理大臣賞受賞。養殖漁業、採介藻漁業に従事する傍らで観光面に着手し、クルージングで観光客を呼び込む。インバウンドクルーズを増やしていきたいと考えている。



## 会場

岩手大学 農学部 7番講義室 (農学部5号館 (B07) 1階)

下記URLまたはQRコードから、お申し込みください。  
<https://forms.gle/t1nnXa6WA6gxZaBRA>



- ・フォームでの申込後、受付完了メールが届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
- ・ドメイン指定受信で、@iwate-u.ac.jp (岩手大学ドメイン) を許可してください。(高校から付与されるメールアドレスは制限されていることがあります)

